

☆「勘違いしない」「だまされない」

― 憲法、沖縄、経済 ―

勘違いの例

◇先日の北朝鮮のミサイル発射。これは許しがたい暴挙です。しかし、だから安保法制（集団的自衛権行使）は必要だというのは勘違いです。新しい法律を作らなくても、現憲法下の専守防衛で国は守れるのです。

◇先日の沖縄県宜野湾市長選挙で、自民・公明が推薦した候補が当選。これでは基地の辺野古移設が容認されたと見るのは勘違いです。当選した人も辺野古移設は一切言っていない。出口調査でも移設反対が57%、賛成は34%です。（朝日、琉球新報の出口調査）

◇アベノミクスで生活が楽になったと思うのも勘違いです。実質賃金は4年連続マイナスです。雇用が増えたのもほとんどが非正規雇用です。だから物価の上昇に追いつかないのです。大部分の国民の生活は苦しくなっています。

勘違いの原因はだまされているからです

◇その他、株が上がっているから暮らしは豊かになっている、沖縄は基地が無いとやって行けない、ホルムズ海峡が閉鎖されたら電気が不足してスマホも使えなくなる、などというのみんな勘違いです。

◇この勘違いは、現政府の説明や一部のマスコミ報道を鵜呑みにしているからです。私たちは実はだまされているのです。

夏の選挙ではだまされない

◇夏の選挙で、現政権はいよいよ憲法改正を訴えると言っています。本音は9条改正にあるのは間違いないです。安保法制の撤回が先でしょう。変化しようとしているのです。

◇みなさん、憲法を変えて、海外まで出て行って戦争が出来るようにしないと国は守れないと本当にそう思いますか？だまされていませんか？

◇株があがり、雇用（実は非正規雇用）が増えると皆さんの財布が膨らむと本当にそう思いますか？どうか自分の足元を冷静に見て、判断して下さい。

◇夏の選挙ではだまされてはいけません。政府やマスコミの説明を鵜呑みにせず、現実をしっかりと見て、なにが平和を実現するのか、何が国民を豊かにするのかを、しっかりと見て投票しましょう。

二〇一六年二月一四日（日）護憲平和行進（通算588回目）

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

日本国憲法第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。